

令和4年2月22日(火) 福井新聞掲載

策にも取り組む。

「脱炭素」を着実に進めるため、地域再生エネルギーの段階的導入計画を策定。市内1小学校に生ごみ分解処理機を設置し、給食生ごみゼロを目指す実証実験も進める。DX関連では住民異動届や出生届、児童

手当などの各種申請書などを書く手間を極力省き、市民サービスの向上を図る「書かない窓口事業」に1450万円を盛った。新型コロナ対策の保育所や幼稚園、小中学校の給食費半額補助は新年度も継続して行う。

つつじバスダイヤ改正

4月から循環線を定時運行に

鯖江市は21日、コミュニティバス「つつじバス」の運行ダイヤを4月1日から改正すると発表した。現行の17路線82便から9路線74便に整理し、循環線はJ

R鯖江駅と福井鉄道福武線神明駅を起点に定時運行するなど「シンプルで利用しやすい」（総合交通課）ダイヤに見直した。新ダイヤ表は3月に広報さばえとともに全戸配布する。

職員で反映

たつては職員全員で市民が望んでいること、これから何が必要になってくるかを徹底的に考え、できるだけ市民の声を反映させた。大型のハード事業はな

市街地を走る循環線は午前8時〜午後6時、「丹南病院先回り」「アル・プラザ鯖江先回り」ともJR鯖江駅を毎時ちよつとに発車。神明駅からは、それぞれ毎時28分発、同32分発にして、利用者が覚えやすいようにした。また、両駅を乗り継ぎ拠点とし、八つの地区路線とスムーズに乗り換えられるダイヤを組ん

だ。

地区路線の河和田線は通常路線に加え、乗車時間短縮のため一部バイパスを利用する「快速路線」を導入する。土日祝日は現行の42便から60便に増便し、市民の外出機会を増やす。一方、利用が少ない市内一円を回る幹線と、冬期通学便7ルートは廃止する。

市は2017年春に大幅なダイヤ改正を行ったが、市民から「複雑でルートが入り組み過ぎている」との声が出ていた。（土生仁巨）

新型コロナワクチン

5〜11歳接種

来月12日から

越前町、織田病院で

越前町は21日、5〜11歳の新型コロナウイルスワクチン接種を3月12日から織田病院で行うと発表した。22日に接種券を発送し、24日から予約を受け付ける。

接種券は、まず2010年3月〜17年2月に生まれた1104人に発送。新たに5歳になる子どもには誕